

DIGITAL VOICE RECORDER

デジタルボイスレコーダー

MR50(F)/ MR52(F)/ MR54(F)



取扱説明書

(Ver 1.0)

安全に正しくお使いいただくために

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになって、正しく安全にお使いください。
また、お読みになった後は、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。
あなたと他の人々への危害や財産への損害を防ぐために、必ずお守りください。

電池について

電池の+と-の向きは正しくセットしてください。

長時間使用しない場合は、電池をはずした状態にしてください。

使用済みの乾電池を再充電しないでください。

加熱、分解をしたり、火や水の中に放置しないでください。

ネックレスなどの金属物と一緒にしないでください。

被覆のはがれた電池は使用しないでください。

新しい電池と古い電池が混在した状態で使用しないでください。

取り扱いを誤ると、電池の液漏れにより、火災や周囲汚染の原因となります。

液が体についたときは、水でよく洗い流してください。

小児の手の届かないところに保管してください。

免責事項

商品の故障、誤動作などの要因により、録音の消失や無録音などにおいて、発生した損害などの付随補償については、当社は一切その責任を負いかねますので、予めご了承ください。

製品の誤った使用により生じた損害、著作権の侵害などによる請求には、当社は一切その責任を負いかねますので、予めご了承ください。

本機について

分解や改造をしないでください。

機器が故障したり 金属物が入ると、火傷や感電、火災の原因となります。

製品を落としたり 衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

自動車やバイク、自転車などの運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。

歩行中でも周囲の交通にご注意ください。

以下のような場所には保管しないでください。故障や事故の原因となります。

- 60度以上の高温になる場所
- 火気付近
- 窓を閉め切った車内 (特に炎天下)
- 浴室などの湿度の高い場所
- ほこりの多い場所

液晶画面に過度の力を加えないでください。画面や機能を損傷する原因となります。

クレジットカード・キャッシュカードなどの磁気を帯びた物をスピーカーに近づけないでください。

相互故障の原因となります。

航空機内や病院など電子機器の使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用機器へ影響を与えることがあります。

修理、その他による原因で消去されてしまった録音内容、データについては、当社は責任を負いかねます。

音量を上げすぎないでください。大音量で長時間続けて聞くと、聴力に影響を与える可能性があります。

小児の手の届かないところに保管してください。

水に濡らさないでください。

著作権について

私的用途以外で、著作権、歌唱、あるいは演奏・公奏などの録音物を複製したり 無断で録音することは法律などにより禁じられています。

録音についてのお願い

取り直しの利かない録音の場合、必ず事前に録音テストをしてください。

- 目次 -

主な特長	4
電池の取り扱いについて	4
外観と各部の名称	5
各ボタンの機能と操作説明	6
メニュー操作	7
ボイス録音	8
ライン入力録音	10
FM ラジオの受信と録音	13
ファイルの削除	15
ホールド機能	15
システム設定	16
PC 接続について	17
トラブルシューティング	18
主な製品仕様	19

主な特長

MP3 で高音質・長時間録音

内蔵ツインマイクによりステレオ録音が可能

MP3 デジタルオーディオプレーヤーとしても活躍

世界最小・最軽量クラスのコンパクトデザイン

FM ラジオを受信・録音が可能

パソコンにカンタンに接続でき、USB リムーバルメモリとしても活用

高音質スピーカー搭載

わかりやすいアイコンメニューを採用

その他の機能

VOS(静音機能) / ダイレクトエンコーディング機能 / イコライザ機能 / 多様な再生モード /

日本語ファイル名・歌詞表示対応 / A-B リピート機能

電池の取り扱いについて

電池の入れ方

単 4アルカリ乾電池を 1本使用します。

底面にある電池蓋を外側へスライドさせ開けます。

極性 (+ と -)を間違えないように図のように入れます。



長時間使用しない場合は、乾電池を取り出して保管してください。

誤った操作をされるとデータが消去される可能性がありますので、電池の出し入れの際は、録音・再生を停止してください。

電池残量表示

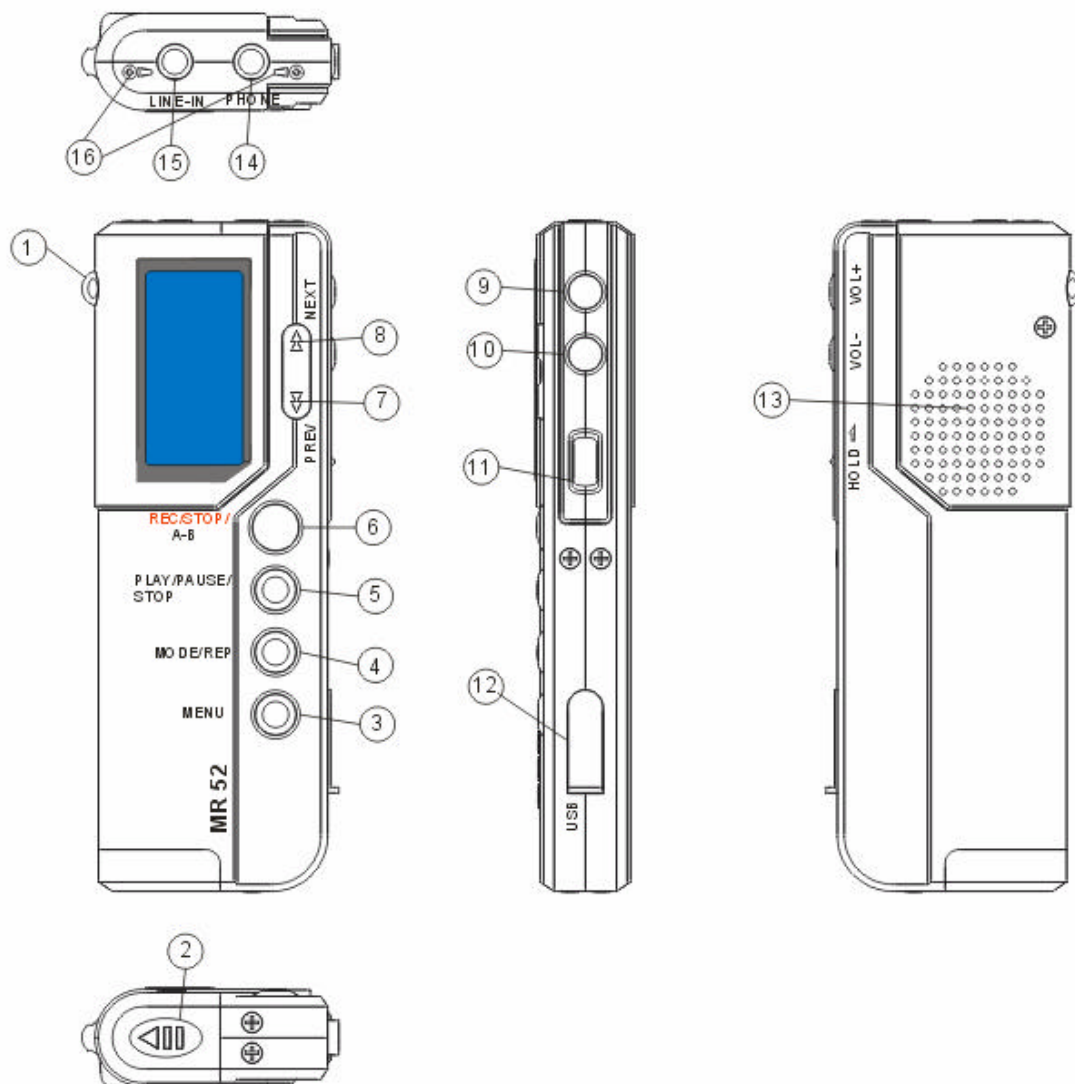


残量十分 残量やや不足 交換時期 自動電源オフ

電池の交換時には新品の電池をご使用ください。

電池の持続時間はお使いになる条件 (電池自身の質量、音量の高低、LCD バックライト点灯時間など)により異なります。

外観と各部の名称



ストラップ取付用金具

電池蓋

MENU/EQ/DEL (取消) ボタン

MODE/REP ボタン

PLAY/PAUSE/STOP (電源/確定) ボタン

REC/STOP/A-B ボタン

ファイル戻し (選択) ボタン

ファイル送り (選択) ボタン

VOL+ボタン

VOL- ボタン

HOLD スイッチ

USB 端子

内蔵スピーカー

イヤホン端子

ライン入力端子

内蔵ツインマイク

各ボタンの機能と操作説明

電源入 / 切、再生、一時停止、停止

電源入 / 切

電源が切れている状態で電源ボタン を5秒以上長押ししてください。

停止状態で電源ボタン を5秒以上長押しすると電源が切れます。

再生 / 一時停止 / 停止

停止状態の時、PLAY ボタン を押すと再生が始まります。

再生状態で PAUSE ボタン を短く(1秒以内)押すと一時停止状態となり、再度 PLAY ボタン を押すと一時停止した時点から再度、再生を再開します。

再生状態で STOP ボタン を1秒以上長押しすると再生を終了し、停止状態となります。

再生モード選択

再生中に REP ボタン を押すと再生モードを選択できます。

□ (ノーマル) 全曲を1回だけ再生し自動停止します。

ⓇND (ランダム再生) 全曲をランダム (順不同) に再生します。

ⓂNT (イントロ再生) 曲の最初の約10秒だけ再生し、順次次の曲へ移動します。

ⓂLL (全曲リピート) 全曲を繰り返し再生します。

1□ (1曲リピート) 指定した1曲のみを繰り返し再生します。

イコライザ機能

好みに合わせて6種類の音質補正ができます。

再生中に EQ ボタン を押すごとに音質が FLAT POP Class ROCK JAZZ 3D の順に補正されます。

A-B リピート機能

再生中に A-B ボタン を押すと任意の A-B 間を繰り返し再生することができます。1度目に押したときにディスプレイに (A-) が表示されます。2度目に押したときにディスプレイに

(A-B) が表示され、A-B 間を繰り返し再生します。

曲の送り / 戻し

再生中 / 停止中にファイル送りボタン 、ファイル戻しボタン を押すと曲を飛ばすことができます。

早送り / 巻戻し

再生中にファイル送りボタン 、ファイル戻しボタン を押し続けることにより、曲の早送り、巻戻しができます。ボタンを離すと、再生がはじまります。曲の経過時間は、ディスプレイで確認することができます。

音量調節

再生中に VOL+ボタン 、VOL-ボタン を押すことにより音量の調節を行います。

モード切替

待機状態からMODE ボタン を押すとモードの切り替えができます。
 ミュージックモード:音楽ファイル (MP3 フォーマット)の再生をします。
 ライン入力モード:ライン入力 (外部機器からの録音)と再生をします。
 ボイスレコーダーモード:マイクでの会話の録音 / 再生をします。
 ラジオモード 録音した FM ラジオの再生をします。

メニュー操作

メインメニュー

待機状態からMENU ボタン を押すとメインメニューが表示されます。
 選択ボタン を操作してメニューを選択し、確定ボタン で確定します。



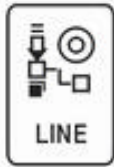
ミュージック

音楽ファイル (MP3 フォーマット)の再生をします。



ボイス

マイクでの会話の録音 / 再生をします。



ラインイン

ライン入力 (外部機器からの録音)と再生をします。



FM 録音

録音した FM ラジオの再生をします。



FM

FM ラジオを聴きます。



システム設定

システム設定を行います。

ボイス録音

ボイスレコーダーモードでは内蔵のツインマイクまたは外付けマイクにより音声の録音ができます。

事前設定

マイク設定

音声を録音するマイクを内蔵ツインマイクまたは外付けマイクから選択します。

- (1)メインメニューから[システム設定]を選択します。
- (2)選択ボタン を操作して[マイク設定]を選択し、確定ボタン で確定します。
- (3)選択ボタン を操作して録音するマイクを選択し、確定ボタン で確定します。
- (4)(3)の状態からMENU ボタン を3回押すと通常モードに戻ります。

VOS 設定

VOS 機能はメモリを節約するため、一定レベル以上の音声がない場合は録音を一時停止し、音声を感知して自動的に録音を開始する機能です。

- (1)メインメニューから[システム設定]を選択します。
- (2)選択ボタン を操作して[VOS 設定]を選択し、確定ボタン で確定します。
- (3)選択ボタン を操作してVOS 機能のオン / オフを選択し、確定ボタン で確定します。
- (4)(3)の状態からMENU ボタン を3回押すと通常モードに戻ります。

VOS 機能を使用する場合、音声の頭部分が若干切れる場合がございますのでご注意ください。

ボイス音質設定

- (1)メインメニューから[システム設定]を選択します。
- (2)選択ボタン を操作して[ボイス音質設定]を選択し、確定ボタン で確定します。
- (3)選択ボタン を操作して任意の録音ビットレート(音質)を選択し、確定ボタン で確定します。

録音ビットレート	音質	録音時間の目安	
		128MB の場合	256MB の場合
8kbps	モノラル	2160 分	4320 分
16kbps	ステレオ	1080 分	2160 分
32kbps	ステレオ	540 分	1080 分
64kbps	ステレオ	270 分	540 分
96kbps	ステレオ	180 分	360 分
128kbps	ステレオ	135 分	270 分

録音ビットレートが高いほど高音質で録音できますが、録音時間は短くなります。

- (4)(3)の状態からMENU ボタン を3回押すと通常モードに戻ります。

ボイス録音の手順

操作手順

(1)メインメニューから[ボイス]を選択します。または、待機状態から MODE ボタン を操作して、

ボイスレコーダーモード[] に切り替えてください。

(2)REC ボタン を押すと録音を開始します。

(3)録音を一時停止するには、録音中に PAUSE ボタン を押すとディスプレイに [■■] マークが点灯し、録音が一時停止します。

再度、PAUSE ボタン を押すと、録音が一時停止した時点から再開します。

(4)録音を終了するには、録音中に STOP ボタン を押すとディスプレイに [DATA SAVE] と表示され、録音が停止します。

ボイス録音より録音されたファイルはボイスレコーダーモードから再生します。

録音できるファイル数は最大で99ファイルです。ファイル数が99になるとメモリ残量にかかわらず録音を終了します。

電池残量が残り少ない場合、録音が最後までできなくなる可能性がありますので録音前に新しい電池に交換してください。





録音中に電池蓋を開けると保存中のデータが損失する可能性がありますのでご注意ください。

ライン入力録音


ライン入力モードでは付属のオーディオケーブルを使用し、CD プレーヤーや MD プレーヤーなどの外部機器のイヤホン端子に接続して音楽をMP3 フォーマットで録音することができます。

事前設定


録音ファイル番号の設定

- (1)メインメニューから[システム設定]を選択します。
- (2)選択ボタン  を操作して[録音ファイル番号]を選択し、確定ボタン  で確定します。
- (3)選択ボタン  を操作して任意の録音ファイル番号設定を選択し、確定ボタン  で確定します。

自動 (連続)

録音開始してから、無音部分 (約 2秒間)を検出し、ファイルを作成して自動的に次の録音が始まります。STOP ボタン  を押すまで録音動作を続けます。

マニュアル

録音を開始してSTOP ボタン  を押すまでを曲数、長さにかかわらず 1つのファイルとして録音します。





自動 (1ファイル)

録音開始してから、無音部分 (約 2秒間)を検出して自動的に録音を停止します。1ファイル作成したところで録音動作は終了されます。

- (4)(3)の状態からMENU ボタン  を3回押すと通常モードに戻ります。

ノイズの多い音源や静かな音楽を録音する場合に自動ファイル番号機能が正常に動作しない場合がございますのでご注意ください。

ライン音質設定

- (1)メインメニューから[システム設定]を選択します。
- (2)選択ボタン  を操作して[ライン音質設定]を選択し、確定ボタン  で確定します。
- (3)選択ボタン  を操作して任意の録音ビットレート(音質)を選択し、確定ボタン  で確定します。

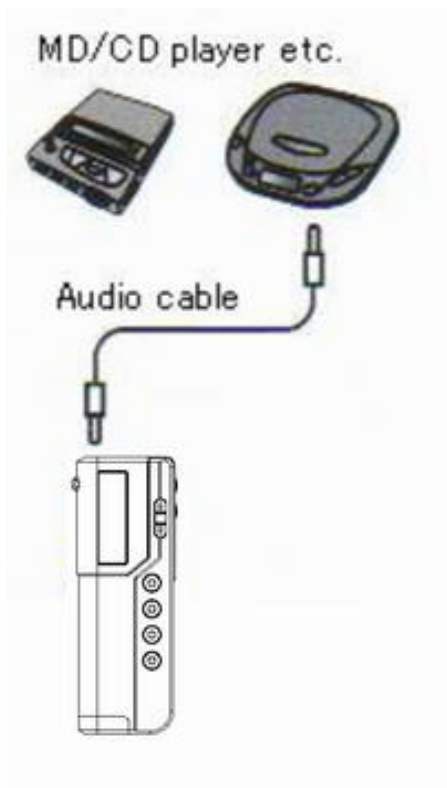
録音ビットレート	録音時間の目安	
	128MB の場合	256MB の場合
32kbps	540 分	1080 分
64kbps	270 分	540 分
96kbps	180 分	360 分
128kbps	135 分	270 分
160kbps	108 分	216 分

録音ビットレートが高いほど高音質で録音できますが、録音時間は短くなります。

- (4)(3)の状態からMENU ボタン  を3回押すと通常モードに戻ります。

ライン入力録音の手順


接続方法



付属のオーディオケーブルを録音しようとする外部機器のイヤホン端子に接続し、本機のライン入力端子に接続します。

外部機器の音量は、通常イヤホンで聴くレベルにしてください。大きすぎると再生時にノイズが出る場合がございます。

操作手順

- (1) メインメニューから[ラインイン]を選択します。または、待機状態から MODE ボタン を操作して、ライン入力モード [] に切り替えてください。
 - (2) REC ボタン を押すと録音を開始します。
 - (3) 録音を一時停止するには、録音中に PAUSE ボタン を押すとディスプレイに [■■] マークが点灯し、録音が一時的に停止します。
- 再度、PAUSE ボタン を押すと、録音が一時的に停止した時点から再開します。
- (4) 録音を終了するには、録音中に STOP ボタン を押すとディスプレイに [DATA SAVE] と表示され、録音が停止します。

ライン入力録音より録音されたファイルはライン入力モードから再生します。

録音できるファイル数は最大で99ファイルです。ファイル数が99になるとメモリ残量にかかわらず録音を終了します。

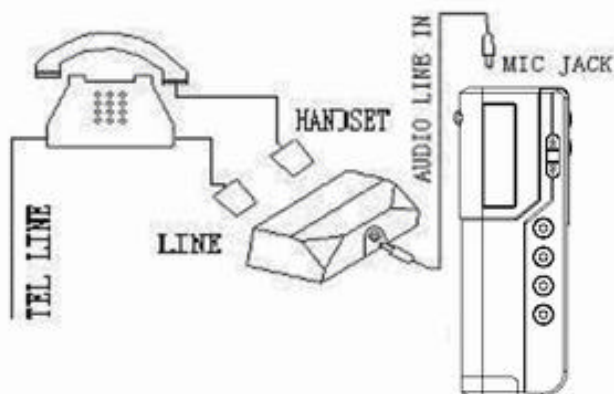
電池残量が残り少ない場合、録音が最後までできなくなる可能性がございますので録音前に新しい電池に交換してください。

録音中に電池蓋を開けると保存中のデータが損失する可能性がございますのでご注意ください。

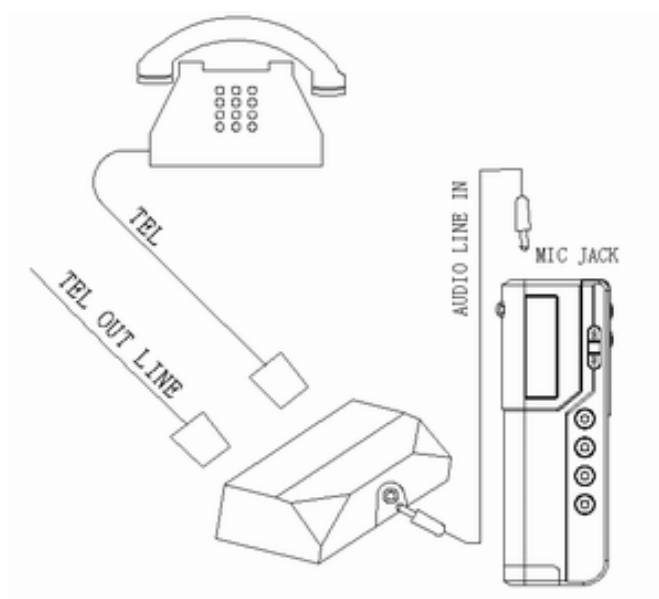
電話からの会話録音

接続方法

- (1)本機のライン入力端子 と付属の電話回線アダプタの出力端子を付属のオーディオケーブルで接続します。
- (2)電話ユニットから電話コードを取り除き、電話アダプタを接続します。
- (3)電話アダプタと電話ユニットに付属のモジュラーコードを接続します。



または



付属の電話アダプタの形状によって使い分けてください。

操作手順

操作手順はライン入力録音の操作手順と同じです。

[システム設定]より[マイク設定]を[外付けマイク]にすることで、より鮮明に音声を録音することができます。

お使いの電話機によっては音声を鮮明に録音できない場合がございますのでご了承ください。

FM ラジオの受信と録音

FM モードでは FM ラジオの受信及び録音が、FM 録音モードでは録音したラジオ放送を再生することができます。

事前設定

地域選択

- (1)メインメニューから[FM]を選択します。
- (2)MENU ボタン を押し、サブメニューを表示させます。
- (3)選択ボタン を操作して[地域選択]を選択し、確定ボタン で確定します。
- (4)選択ボタン を操作してお使いの地域を選択し、確定ボタン で確定します。
- (5)(4)の状態からMENU ボタン を2回押しとFM モードに戻ります。

FM モードから他のモードへ切り替えるにはFM モードのサブメニューから[メニュー]を選択してください。

スキャンモード選択

ラジオチャンネルのスキャンモードを選択します。なお、本機においてはイヤホンが受信アンテナとして作用するため、必ずイヤホンをイヤホン端子 に接続した状態で操作してください。

イヤホンが接続した状態になっておりませんと FM ラジオは受信できませんのでご注意ください。

- (1)メインメニューから[FM]を選択します。
- (2)MENU ボタン を押し、サブメニューを表示させます。
- (3)選択ボタン を操作して[スキャンモード選択]を選択し、確定ボタン で確定します。

手動スキャン

選択ボタン を操作して手動でラジオチャンネルを取得します。

取得したラジオチャンネルを保存するには該当する周波数で確定ボタン を押します。手動スキャンを終了するにはボタン のいずれかを押します。

自動スキャン

自動でラジオチャンネルを取得・保存します。

自動スキャンを途中で中止するには STOP ボタン を押します。なお、電波の受信状況が悪い場合は、自動でチャンネルを取得できない場合がございます。

操作手順

保存したラジオチャンネルをイヤホンで聴くことができます。なお、本機においてはイヤホンが受信アンテナとして作用するため、必ずイヤホンをイヤホン端子 に接続した状態で操作してください。

イヤホンが接続した状態になっておりませんと FM ラジオは受信できませんのでご注意ください。

- (1)メインメニューから[FM]を選択します。
- (2)選択ボタン を操作して保存した任意のラジオチャンネルを選択します。
- (3)(2)の状態ではボタン を押すと、現在選択しているラジオチャンネルを削除します。
- (4)(2)の状態ではREC ボタン を押すと録音を開始します。
- (5)録音を一時停止するには、録音中に PAUSE ボタン を押すとディスプレイに [■■] マークが点灯し、録音が一時停止します。
再度、PAUSE ボタン を押すと、録音が一時停止した時点から再開します。
- (6)録音を一時停止するには、録音中に PAUSE ボタン を押すとディスプレイに [■■] マークが点灯し、録音が一時停止します。
再度、PAUSE ボタン を押すと、録音が一時停止した時点から再開します。
- (7)録音を終了するには、録音中に STOP ボタン を押すとディスプレイに [DATA SAVE] と表示され、録音が停止します。

FM モードから他のモードへ切り替えるにはFM モードのサブメニューから[メニュー]を選択してください。

FM モードより録音されたファイルはFM 録音モードから再生します。

録音できるファイル数は最大で99ファイルです。ファイル数が 99になるとメモリ残量にかかわらず録音を終了します。

電池残量が残り少ない場合、録音が最後までできなくなる可能性がありますので録音前に新しい電池に交換してください。

録音中に電池蓋を開けると保存中のデータが損失する可能性がありますのでご注意ください。

ファイルの削除

1件削除

- (1)各モードの待機状態からDEL ボタン をディスプレイ上に [DELETE YES/NO] と表示されるまで長押しします。
- (2)選択ボタン を操作して削除したいファイルを選択し、確定ボタン で削除します。
- (3)削除をキャンセルするにはMODE ボタン を押せば各モードに戻ります。

1件削除

- (1)メインメニューから[システム設定]を選択します。
- (2)選択ボタン を操作して[ファイル削除]を選択し、確定ボタン で確定します。
- (3)選択ボタン を操作して[1件削除]を選択し、確定ボタン で確定します。
- (4)選択ボタン を操作して削除したいファイルを選択し、確定ボタン で削除します。
- (5)削除をキャンセルするにはMODE ボタン を押せば各モードに戻ります。

全件削除

- (1)メインメニューから[システム設定]を選択します。
- (2)選択ボタン を操作して[ファイル削除]を選択し、確定ボタン で確定します。
- (3)選択ボタン を操作して[全件削除]を選択し、確定ボタン で確定します。
- (4)全件削除をするには確定ボタン で削除します。
- (5)削除をキャンセルするにはMODE ボタン を押せば各モードに戻ります。

全件削除を実施すると本機に保存されている全てのデータが削除されますので実施の際には十分にご注意ください。

ホールド機能

ポケットやカバンの中での誤動作を防止するため、ホールド機能を設けております。HOLD スイッチ をオンにしますと電源投入時のみディスプレイ上に [HOLD!!] と表示され、ホールド状態であることを知らせますが、その他の全てのボタンは受けません。ホールド状態を解除するにはHOLD スイッチ をオフにしてください。

システム設定

各種システムの設定を行います。基本操作は選択ボタン でオプションを選択、確定ボタン でオプションを確定します。メニューに戻る、または、選択をキャンセルするには (取消) ボタンを押します。なお、[*]マークが付いているオプションが現在選択中のオプションです。

言語選択

メニューの言語を[日本語]、[英語]、[中国語]から選択できます。

ファイル削除

保存ファイルの削除ができます。

詳しい操作は[ファイルの削除]をご確認ください。

EL 点灯時間設定

バックライトの点灯時間を[OFF]、[3秒]、[5秒]、[10秒]から選択できます。

LCD 輝度設定

バックライトの明るさを[1~6の段階]で選択できます。

マイク設定

音声を録音するマイクを[内蔵マイク]または[外付けマイク]から選択します。

詳しい操作は[ボイス録音]をご確認ください。

ボイス音質設定

マイクから録音する音質を[8kbps]、[16kbps]、[32kbps]、[64kbps]、[96kbps]、[128kbps]から選択できます。

詳しい操作は[ボイス録音]をご確認ください。

VOS 設定

VOS 機能を[VOS オン]、[VOS オフ]から選択できます。

詳しい操作は[ボイス録音]をご確認ください。

ライン音質設定

ライン入力録音の音質を[32kbps]、[64kbps]、[96kbps]、[128kbps]、[160kbps]から選択できます。

詳しい操作は[ライン入力録音]をご確認ください。

録音ファイル番号

録音ファイルの番号設定を[自動 (連続)]、[マニュアル]、[自動 (1ファイル)]から選択できます。

詳しい操作は[ライン入力録音]をご確認ください。

メモリ情報

メモリの[空き容量]、[全体容量]、[ソフトウェアバージョン]を確認できます。

PC 接続について

本機を付属の USB ケーブルを使用してお使いの PC と接続することにより大容量リムーバブルディスクとして使用することが可能です。

PC 動作環境

システム要件	PC/AT 互換機
CPU	Pentium 166MHz 以上
OS	Windows ME/2000/XP
USB	USB1.1/USB2.0
メモリ	32MB 以上 (Windows 2000/XP の場合は 64MB 以上推奨)
HDD 空き容量	20MB 以上

データの転送方法

- (1) 付属の USB ケーブルの一方の端子 (大) を PC の USB 端子に接続します。
- (2) もう一方の端子を (小) を本機の USB 端子 に接続します。
- (3) ディスプレイに [USB ONLINE] と表示され、本機がリムーバブルディスクとして OS に認識されます。
- (4) 本機が OS に認識されましたら、転送したいデータをドラッグ & ドロップで転送します。

お使いの PC が Windows Me/2000/XP の場合、本体と PC を付属の USB ケーブルで接続すると自動的にドライバがインストールされ、本機がリムーバブルディスクとして OS に認識されます。

ファイルの転送中は絶対に USB ケーブルを外さないでください。

ID3 タグ

本機は待機中にファイル名、再生中には ID3 タグの表示を行うことができます。タグが存在しない場合には、再生中もファイル名が表示されます。

半角文字と全角文字が混在したテキストの場合は文字化けすることがありますので、文字の種類を1つで書き込んでください。また、半角カナ文字はサポートしていません。

歌詞表示

本機は音楽ファイルの歌詞表示機能に対応しております。任意のソフトウェアで歌詞ファイルを作成 編集し、音楽ファイルと同じディレクトリに同じファイル名 (拡張子は含まず) で保存してください。

歌詞ファイルのフォーマットは [LRC] フォーマットのみをサポートしています。

トラブルシューティング

トラブル内容	対応
電源が入らない	バッテリー残量が十分かご確認 ください。 電源ボタン を5秒以上長押ししてください。
ディスプレイの表示が薄い	バッテリー残量が十分かご確認 ください。 LCD 輝度の設定が最弱になっていないかご確認 ください。
音が聞こえない	音量が 0 になっていないかご確認 ください。 ヘッドホンプラグが汚れていないかご確認 ください。 音楽ファイルが壊れていないかご確認 ください。
文字化けがする	再生ファイルに合った正しい言語設定がなされているかご確認 ください。 半角文字と全角文字が混在したテキストの場合は文字化けすることがありますので、文字の種類を1つで書き込んでください。 半角カナ文字はサポートしておりません
FM 受信がうまくいかない	イヤホンと本体の位置を調節してお試しください。 近くの電子機器の電源を切ってお試しください。 イヤホンはアンテナとして使用されます。
PC 接続がうまくいかない	USB ケーブルの接続及び、破損がないかご確認 ください。

主な製品仕様

メモリ容量	64MB - 256MB
録音フォーマット	MP3
録音時間	128MB 2.2 時間(128kbps) ~ 35 時間(8kbps) 256MB 4.5 時間(128kbps) ~ 70 時間(8kbps)
周波数特性	20Hz-20KHz
最大保存ファイル数	99
サイズ	(H)100mm × (W)30mm × (D)14mm
重量	35g (電池無し)
電源	単 4 電池 1 本
電池持続時間	約 10 時間 (イヤホン使用時)
表示器	128x64 ドットマトリクス EL バックライト付
内蔵マイク	ツインコンデンサマイク
内蔵スピーカー	23mm 径/32 オーム
信号対雑音比 (S/N)	90dB
最大イヤホン出力	3mW
データ転送速度	USB1.1

本仕様及びデザインは予告なしに変更することがございます。